|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **学校経営推進費　評価報告書（１年め）** | | | | |
| **１．事業計画の概要** | |  |  |  |
| **学校名** | 大阪府立光陽支援学校 | | | |
| **取り組む課題** | 生徒の自立を支える教育の充実 | | | |
| **評価指標** | ・支援学校における児童生徒、保護者の学校満足度の向上   * ・支援学校における地域連携と外部への情報の発信 | | | |
| **計画名** | 「光陽GO GOプロジェクト　～未来の扉を自分で開こう～」 | | | |
| **２．事業目標及び本年度の取組み** | |  |  |  |
| **学校経営計画の**  **中期的目標** | ４．【発信】多様性社会の推進と実現（発信力の向上）　～地域に開かれ、お互いの学びを発信し、多様性社会の実現に使命が発揮できる学校～  （1） 「学校間交流」「居住地校交流」等について進化・深化させ、SDGsの視点も取り入れながら「ともに学び、ともに育つ」教育のさらなる推進を行う。  （2） 「地域に開かれた学校作り」実現のため、保護者・地域住民・地域小中学校・関係機関との協働を推進し、併せて「支援教育のセンター的機能」を発揮する。  （3） 児童生徒・教職員が光陽支援学校の取組み・実践・自らの学びを積極的に発信し、「すべての人が自分らしく生きていく社会の実現」に向けて使命を発揮する。（SDGsの取り組み発信含む） | | | |
| **事業目標** | **「光陽GO GOプロジェクト　～未来の扉を自分で開こう～」**   1. 自力移動が難しい児童生徒が多い本校において、「移動支援機器（ベビーロコ）」や「スパイダーシステム」を活用し、「自分で動く」事の楽しさを感じ、「自分のできること」を広げて、運動面・認知面・情緒面の発達を促し、コミュニケーション能力を向上させ、自己表現力を育む。   また、スヌーズレンルームを活用し筋緊張を緩めることで移動支援機器・スパイダーの効果を最大限に引き出す。   1. 「SDGs」の取組みの一環として、「poRiff」（ポリフ＝ポリ袋を活用したリサイクル作品」）や「七宝焼きでのSDGs作品」等を作り、移動支援機器を活用した交流活動での配付や地域での販売活動を通して、自立と社会参加に向けた充実を図る。   地域小中学校や高等学校・地域住民との交流を通して相互に高め合い、多様性社会の推進に使命を果たし、児童生徒・保護者の満足度向上に繋げる。 | | | |
| **整備した**  **設備・物品** | * ベビーロコ３台 * スパイダー１台 * スヌーズレンルーム物品 * 電気炉２台等、七宝焼物品、陶芸物品 | | | |
| **取組みの**  **主担・実施者** | 主担： 首席・自立活動部長・支援相談部長・支援教育コーディネーター・ICT教育部長  実施者： 全教職員 | | | |
| **本年度の**  **取組内容** | * ユニクロの「”届けよう服のチカラ”プロジェクト」に参加し、国連を通じて海外の難民へ服を届けることができた。 * 取り組みを行う中で、ベビーロコやスパイダーを使用し、服を集める為のPR動画の作成や服の集荷作業で児童生徒が主体的に活動するために活用することができた。 * 近隣の学校へもSDGsの拠点校として取組みを発信し、共同で取り組むことができた。 * 交流学習では、ベビーロコに乗って主体的に活動している場面を動画発表し、お互いの相互理解につなげることができた。 * スパイダー（重力免荷システム）を本館に導入し、自立活動以外の授業でも活用し、児童生徒の可能性の幅を広げることができた。また、自立活動部による「スパイダー研修会」を行い、年３回の「スパイダー実践報告会」で活用事例を教員間で共有することができた。 * スヌーズレンルームを設置して活用することで、児童生徒の緊張を緩和させることができ、落ち着いて学校生活を過ごすことができる生徒が増えた。 * SDGsの拠点校として、SDGsの学びを地域へ発信するため、次年度交流学習で使用する七宝焼きや陶芸の品を試作することができた。 | | | |
| **成果の検証方法**  **と評価指標** | 1. 学校教育自己診断アンケートに光陽GoGoプロジェクトの「自立活動に関する項目」「SDGsに関する項目」を新設する。 2. 学校教育自己診断アンケートにおいて自立活動に関する肯定的評価（保護者・教職員）が65％を超える。 3. 学校教育自己診断アンケートにおいてSDGsに関する肯定的評価（保護者・教職員）が65％を超える。 4. 「SDGs」の取組みを含めた発信力について、PTAや地域の代表が委員である「学校運営協議会」での肯定的評価80％以上。 | | | |
| **自己評価** | 1. 学校教育自己診断アンケートに自立活動に関する項目を新設する。⇒学校経営推進費との関連で、ベビーロコ、スパイダー、スヌーズレンルームについて新設した。 （○） 2. 学校教育自己診断アンケートにおいて自立活動に関する肯定的評価（保護者・教職員）が65％を超える。⇒肯定的評価：教職員90％、保護者94％ （○） 3. 学校教育自己診断アンケートにおいて交流及び共同学習に関する肯定的評価（保護者）が80％を超える。⇒肯定的評価：93％ （○） 4. 「SDGs」の取組みを含めた発信力について、PTAや地域の代表が委員である「学校運営協議会」での肯定的評価が80％以上。⇒ 肯定的評価：100％ （○）  * ベビーロコ、スパイダー、スヌーズレンルームの設置を完了し、外部講師を招いてそれらに関わる研修を実施した。また、各学部で「自立活動発表会」を実施し、活動内容の共有を行った。 * 自立活動部による「スパイダー活用事例報告会」を年３回実施し、教職員への周知と意見交換を行った。 * 取組み内容を「光陽GOGO通信」として安心メールで配信し、保護者へ最新の情報を発信した。（計７回） | | | |
| **次年度に向けて** | * 自立活動部が教職員へ「ベビーロコ、スパイダー、スヌーズレン」の活用を支援するために、定期的に巡回を行う。 * 児童生徒の「自立活動発表会」を各学部で実施し、活動内容の共有を行う。また、「活動事例報告会」に外部講師を招聘し、評価及び指導助言をいただき、実践を改善する。 * 光陽GoGoプロジェクトで導入した機器を活用し、「公開授業」を行い、他校教職員とも情報交換を行い、自校の活用力を高める。 * 「安心メール」を活用して、取り組み内容を「光陽GOGO通信」として継続配信し、保護者へ周知を行う。また、動画バージョンの「光陽GOGO通信」を作成し、配信する。 * ベビーロコ、スパイダー、スヌーズレンの「保護者体験会」を行う。 * 地域の小・中学校及び支援学校へベビーロコの体験「出前授業」を行う。 * ユニクロの「”届けよう服のチカラ”プロジェクト」に継続して参加し、SDGs拠点校として地域の学校と共同で取り組みを行う。 * 交流学習等で本校の児童生徒が作成した植木鉢等を使用し、相手校に使用してもらいSDGsの取組みを共同で行う。また、互いにSDGsの取組み内容を相互に発表し学びを深める。 * PTAの体験会として七宝焼き体験会を行い、児童生徒の学びについて理解を深める機会を設ける。 | | | |

**３．事業費報告**

